

愛は南から

南宇和高校放送部(部員7名)が「広報あいなん5月号」から音訊に挑戦しています。音訊とは、視覚に障害のある方のために紙面の内容を音声にして伝えることです。



南宇和高校放送部
写真前列左から
3年 三堂真由子さん
3年 副部長 中村芽さん
2年 前田寿梨さん
3年 部長 大石桃伽さん
後列左から
2年 兵頭美沙希さん
2年 瀨本梨乃さん
2年 丸山優月さん

5月号の音訊は、部員のみなさんが担当のパートを順番に読み上げて約20分の音声データを作成しました。スポーツの記事を担当した副部長の中村芽さんは「写真で説明できないので、

どのように読んだら聞く人に伝わるのか考えながら作業しました。抑揚をつけるなど、工夫してうまくできたと思います。」と出来栄えに満足そう。

2年生の兵頭美沙希さんは「たくさんの方に聞いてもらえると、思うと緊張して読むスピードが速くなりました。次はゆっくりハキハキ読みたいと思います。」と次回の抱負を話してくれました。

同校放送部は昨年、内海地域に伝わる民話を題材に制作された「デジタル紙芝居」のナレーションを担当するなど、活動の舞台を地域に広げています。そんな放送部のいまの悩みは新入

部員が入っていないこと。一緒に活動してくれる部員を募集しているそうです。

部長の大石桃伽さんは「広報あいなんの読み上げや、ほかの地域の行事にも積極的に参加していきたいと思っています。放送部の活動をたくさんの人に知ってもらえたらうれしいです。」と今後の活動について笑顔で語ってくれました。

顧問の池田誠先生は「放送部には、コンテストで上位を目指す活動もありますが、コンテストには全員が出演するわけではありませぬ。みんなに活躍の場がある、そんな部活にした」といふ思いが部員と一致して、いまのような積極的に地域に出て行くこととする活動になっ「と話してくれました。」

南宇和高校放送部の挑戦は始まったばかり、今後の活躍にご期待ください。



広報あいなん6月号の音訊作業を行う大石桃伽部長

広報誌の音訊は、これまでも点訳と共に点訳奉仕グループ「てんとつむしの会」が20年以上続けてきました。グループは高齢化や後継者不足といった問題を抱えています。が、これからも音訊を続けていくために、今回、南宇和高校放送部において高校生による音訊が始まりました。

文月 愛南文芸

城辺川柳会

「風」

古い家重い雨戸が風止める
 人恋しい独居を風がノックする
 風の便り元気でないと言う噂
 顔を上げプラス思考に風光る
 雨風に闘う選手見て拍手
 平穏な日は吹く風も心地良い
 風切って歩いたところが恥ずかしい
 身の丈の幸せ風に聞いている

城辺俳句会

腐葉土のみみず騒つく畑打ち
 初鯉高値手を打つ競りの市

はじめまして。赤ちゃん。

5月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
網代	魚 碧	薫
御荘	水 心	史
平城	藤 陽	衣
増田	齋 陽	志
久良	大本	也
城辺	萩 森	沙
中川	田 村	和
深浦	野 田	隆
御荘	石 川	之
柏		二

ご冥福をお祈りします。

5月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
城辺	乙 吉 田 マサエ	91歳
中川	浅 山 ヒデミ	85歳
城辺	乙 桑 原 シゲ子	86歳
小成	川 小 川 友子	87歳
御荘	平城 岩 村 東好	64歳
垣内	山 本 好子	91歳
中川	上 根 フミ子	90歳
上大	道 宮 下 敏子	66歳
深浦	宮 本 志朗	60歳
久良	松 平 弘美	79歳
柏	中 川 昭一	88歳
緑甲	布 山 秀子	60歳
城辺	甲 清 水 子	92歳
中浦	二 宮 ヒナ子	92歳
御荘	平城 尾 崎 敏子	80歳
猿鳴	浦 崎 正雄	94歳
網代	鈴 木 カツ子	93歳
満倉	濱 田 明宏	80歳
御荘	平城 菊 地 サトミ子	74歳
弓立	山 木 理栄子	79歳
久家	池 田 吉幸	89歳
御荘	深泥 出 水 トヨ子	89歳
小山	良 中 村 善市	88歳
御荘	深泥 奥 川 キヌエ	104歳
御荘	菊川 古 川 勇	72歳
広見	池 田 勇雄	96歳
御荘	平城 尾 崎 昇	80歳
御荘	平城 齋 藤 テイ子	84歳
城辺	乙 栗 林 博	66歳
船越	小 埜 成子	67歳
中浦	藤 田 政五郎	78歳
蓮乗	寺 赤 松 清津子	73歳

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。

北原 桃代
 加納 幸子
 百代
 拡
 つるみ
 富士子
 一会
 律子
 暁
 佐賀

新くさの葉短歌会

雨上がりこぼれる程に芽吹山
 遠き日の芒の痛さや麦の秋
 ま緑に映える紫桐の花
 架橋成る島に変わらず夏の潮
 大和田いそ子

石楠花のあけぼの色に咲く朝窓開けてみよと亡夫の声する
 物言わぬ日々がつづけば何となくものさびしくて猫だきよせる
 孫達の巣立ちし春のさみしさよ夫と二人の一日の長し
 客のなき店に一日姉といて亡き父母の話の尽きず
 こうばしく炒りてつくりし新茶なり香りたかきを御仏に供ふ
 夏草は早生いしげり弟の地藏菩薩も還暦となりぬ

前田 充
 長田ハル子
 宮下喜久子
 河上 明美
 藤森多摩子
 西崎 文恵



Minamiuwa 青春！食育！ high school

～キャラクター弁当 なーしくん編～



左上から：岸田さん、田原さん
左下から：栗野さん、尾崎さん、
和田さん

南宇和高校

- 3年：尾崎 稜太さん
岸田 武志さん
2年：栗野 嵐さん
田原 星さん
和田 龍哉さん

【難しかったこと・工夫したこと】

- ・なーしくんの顔に鶏そぼろとご飯を混ぜて作ったことや、かぶり物の帽子に薄焼き卵をのせたところです。
- ・可愛く見せるために顔の輪郭を丸くしました。

【感想】

- ・愛南町のゆるキャラのなーしくんをモチーフに作りました。思った以上に上手にできて良かったです。
- ・5人で協力しながら、楽しく作ることができました。

それいけ 愛南ぎょレンジャー



～アカシオン
参上の巻～



南宇和高校美術部による愛南ぎょレンジャーやなーしくんの4コマ漫画を掲載します。

うみらいく海遊学！

～海からの贈り物アート～

今回の「うみらいく海遊学」は、愛南町の海をアートにしてみようということで、貝殻や魚の鱗などを使っての作品作りです。小学生のみなさん！夏休みの工作に「海からの贈り物アート」はいかがですか？

日時：平成28年7月30日（土） 10:00～12:00
内容：海からの贈り物アート作品作り
募集人員：10名（定員になり次第締め切り）
場所：うみらいく愛南（旧西浦小学校）
申し込み：うみらいく愛南 73-7120



編集後記

いやしの郷トライアスロン大会でフィニッシュに立ち会いました。

高々と手を上げて歓喜を表現する選手。恋人や家族と喜びを分かち合う選手。51.5kmの難コースを駆け抜けた選手が帰ってくるたび、会場は得も言われぬ温かい空気で満たされます。

そんな中、多くの選手が湧き上がる歓喜や安堵の気持ちを一旦抑えて、コースを振り返りお辞儀をしています。華々しさの陰で、真摯に競技に向き合う姿が一段と鉄人を輝かせていました。

特集を仕上げる上で苦労したことがあります。3人の方に集まっていた話をお伺いしましたが、その内容がどれも興味深く、一体どの部分を取り上げてお伝えすべきか迷ったことです。また、話者から伝わってくる“熱”のようなものが、話す言葉から文字に換わった瞬間に失われてしまわないかという懸念もありました。

それぞれの方の海への想いが少しでも皆さんに伝われば幸いです。

愛南町の世帯数と人口

平成28年6月1日現在

世帯数	10,592世帯 (-1世帯)	男	10,697人 (-23人)
人口	22,743人 (-37人)	女	12,046人 (-14人)

※（）内は前月比

※（）内は前月比

●愛南町の高齢化率 39.1%

●10年前 同月の人口 27,560人

■編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 TEL (0895) 72-1211 FAX (0895) 72-1214

<http://www.town.ainan.ehime.jp/>

制作：南宇和高校美術部 西本 ジュラさん